

土木工学・建築学委員会インフラ高度化分科会（第25期・第12回）議事要旨

日時：令和5年2月28日（火）13:00～15:00

会場：オンライン開催（Zoom）

出席者/以下敬称略：

小林潔司，小池俊雄，小松利光，小峯秀雄，高橋良和，竹脇出，多々納裕一，那須清吾，西嶋一欽，花木啓祐，安福規之，小野潔

配布資料：

資料1 IRDR 分科会 意思の表出（提言）本文案

資料2 意思の表出（見解）申出書（1/31 科学的助言等対応委員会提出分）

資料3 意思の表出（見解）骨子（1/31 科学的助言等対応委員会提出分）

資料4 第三部会からのコメント

資料5 意思の表出（見解）本文案（査読案・事務局提出分 3/31べ切）

1. 前回議事要旨の確認

第11回分科会議事録案が了承された。

2. IRDR 分科会 意思の表出（提言）本文案について

多々納委員より，資料1に基づき，IRDR 分科会 意思の表出（提言）本文案について紹介があった。紹介された本文案が本分科会で了承され，その旨を，小林委員長からIRDR 分科会の林委員長に連絡することが確認された。

3. インフラ高度化分科会の意思の表出（見解）について

高橋委員より，資料2，資料3に基づき，本分科会の意思の表出（見解）申出書，骨子（いずれも1/31 科学的助言等対応委員会提出分）の紹介，さらに，資料4に基づき，見解に対する第三部会からのコメントの紹介があった。その後，資料5に基づき，意思の表出（見解）本文案の紹介があった。

資料5の本文案に関する意見等の概要は以下の通り。

- ・「相互補完的」，「統合」の使い方は精査された方が良いのではないか。
- ・要旨の「1 作成の背景」と「2 現状と課題」の内容を再整理された方が良いのではないか。
- ・要旨の「3 提言」の(5)のタイトルを「越境しあうインフラガバナンスを実現するため

の技術と人材育成」にした方が良いのではないか。

- ・ウェルビーイングの中に、平常時と非常時をどのように取り込むかが重要となるのではないか。
- ・資料 5 に記載の「インフラレジリエンス」は、災害レジリエンスを想定して記載している。
- ・言葉（用語）の定義が人によって違うことがわかったので、しっかりと定義する必要がある。
- ・要旨の「3 提言」の(5)の人材育成のところ、ファシリテーターに関する記述を追加した方が良い。

4. 今後の予定について

- ・3月31日が本文書の提出締め切りであるが、事務局が体裁等をチェックし、そのチェックを受けて訂正したものを提出する必要がある。さらに、メール審議にも10日を見ておく必要がある。以上を考慮すると以下の予定となる。

3月7日（火）頃：高橋先生から本文書の送付

3月14日（火）頃：メール審議のための最終案の作成

3月24日（金）頃：事務局への本文書の提出

- ・次回3月31日の分科会では、事務局に提出した本文書を報告する形になる。

（文責：小野）